

こんにちわあー

*** 地域ささえあい情報誌 ***

大河原町生活支援サービス事業所情報交換会の様子



情報交換会で紹介された有償ボランティア活動の様子



9月9日(火)、大河原町役場の大会議室にて「大河原町生活支援サービス事業所情報交換会」を開催しました。主催は、大河原町社会福祉協議会と大河原町ケアマネジャー連絡会です。

この会は、介護保険外の生活支援サービスを行っている団体の情報を共有し、地域包括ケアシステム(高齢者が住み慣れた地域で、安心して暮らせる仕組み)のさらなる充実を目指して開催しました。

当日は、町福祉課、社会福祉協議会の生活支援コーディネーター、ケアマネジャー連絡会、介護保険外生活支援サービス提供事業所の関係者が参加し、各団体の取り組みやサービス内容について情報交換をしました。

生活支援体制整備事業とは

介護保険制度の中で高齢者の生活支援・介護予防サービスの充実と介護予防のための社会参加に向けて、これを支援する地域のボランティア等の担い手の発掘・養成などを行います。また、地域における担い手(人材)や公共・民間を問わない生活支援サービスの環境等(地域資源)を把握し、つなぎ合わせることにより、高齢者が地域で暮らし続けるための生活支援や見守り体制の充実・強化を目的とした事業です。

大河原町社会福祉協議会では平成29年より本事業の実施を町から受託しています。

大河原町の支え合い活動を紹介します!!

～ボランティアによる支え合い活動～

「有償ボランティア活動」とは

地域で気になることや社会から求められていることに対して、自分にできることを周囲と協力しながら行う、自発的な取り組みを指します。また、有償として利用される方も気兼ねなくお願いでき、互いに無理なく心地よい関係で支え合うことができます。

ここで紹介する「ボランティアによる支え合い活動」は、高齢の方や障がいのある方などが抱える日常生活の「ちょっとした困りごと」を解決するための取り組みです。

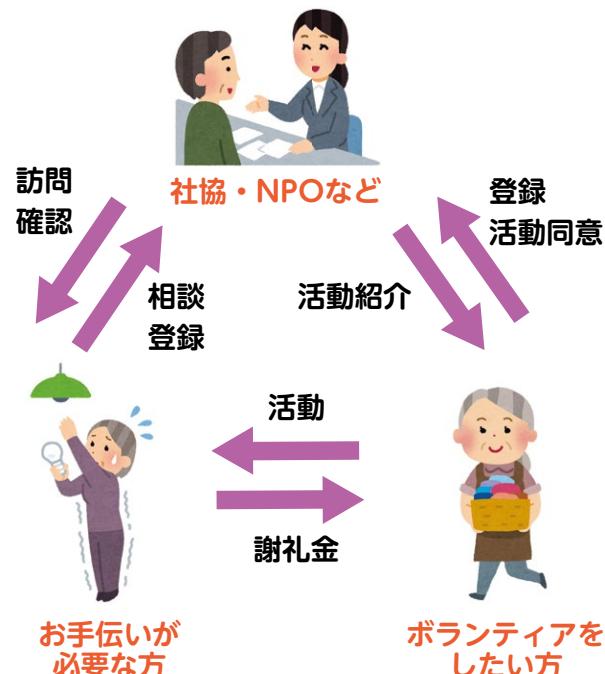
“困ったときはお互いさま”という気持ちを大切にしながら、住民同士が助け合いによって支え合うことを目指しています。

支え合い活動は、利用者とボランティアといった役割を固定するものではありません。状況に応じて、それぞれができることを活かし、支える側にも受ける側にもなることができます。

ご利用にあたっての注意点

- 利用者・ボランティアともに事前登録が必要です。
- 利用者は、活動に協力いただくボランティアへ謝礼金をお支払いいただきます。

※活動のしくみや決まりは団体によって異なります。利用料金など詳細は、各団体へ直接お問い合わせください。



特定非営利活動法人 友愛さくら 訪問介護事業所

お手伝いできる内容

- 家事などの生活支援
- 移動支援

お問い合わせ

大河原町字新南41-5-A
0224-51-9357



特定非営利活動法人 サポート桜

お手伝いできる内容

- 家事などの生活支援
- 移動支援

お問い合わせ

柴田町大字上名生字新大原59-1
0224-87-9177



こ～ぷくらしの助け合いの会

お手伝いできる内容

- 家事などの生活支援
- 移動支援

お問い合わせ

仙台市泉区ハ乙女4-2-2
022-292-5016



大河原町ボランティアセンター 「よりそい・たい」

お手伝いできる内容

- 家事などの生活支援
- 移動支援

お問い合わせ

大河原町社会福祉協議会
大河原町字南69
0224-53-0294

特定非営利活動法人ほっとあい 「ファミリーサポートほっとあい」

お手伝いできる内容

- 家事などの生活支援
- 移動支援

●見守り

- ごみ処理

お問い合わせ

大河原町字町279-1
0224-52-8555



詳しい内容は社協HPにある
「生活支援サービス事業所一覧」を
ご覧ください。



～地域での支え合い活動～

地域の いも煮会

支え合いポイント

みんなで食事を囲むことで
交流の場が生まれ、地域の
つながりを育む活動です

上川原区では、高齢者の見守りと交流の場を提供することを目的に「上川原区いも煮昼食会」が開催されました。併せて、町健康推進課の協力により「血管年齢チェック」や「野菜摂取量チェック」が行われ、健康管理の推進にもつながりました。

この取り組みは、区長や老人クラブ上川原区百寿会会长などが中心となって計画・実施したものです。いも煮の調理は、民生委員・福祉推進委員が担当し、参加の呼びかけは3人の民生委員が分担して行いました。

参加者からは「みんなで食べるとやっぱりおいしく感じる」等の声がありました。



社会福祉協議会は「支え合い助け合えるボランティア活動助成金」で、この活動を支援しています。

陶芸クラブ

支え合いポイント

経験の有無にかかわらずだ
れでも参加でき、一人にな
らない環境を育む地域の活
動です

金ヶ瀬陶芸愛好会は昭和58年に設立され（文化協会登録）現在16名の会員が在籍しています。

会員はそれぞれ自由なペースで土に触れながらおしゃべりを楽しみつつ作品づくりをしています。ベテランの方と初心者の方が一緒に活動することで、自然と学び合い、和やかな雰囲気が広がっています。こうした温かな環境のおかげで、一時は3名まで減ってしまった会員数も現在のように増えました。気軽に参加できる雰囲気が、多くの仲間を引き寄せているようです。金ヶ瀬公民館にて毎月第1水曜日と第3土曜日に活動をしています。



高齢者対象の 防災研修

支え合いポイント

災害に備えて講習を受ける
ことでいざというときの助け
合いにつながる活動です

桜町2区では自主財源で高齢者を対象としたサロン活動を行っています。

11月21日に行われたサロンでは町健康推進課による「災害時の非常食に栄養バランスを取り入れる工夫」についての講話が行われました。火を使わずに作れるレシピを実際に調理し、試食する機会もありました。その後地元桜町のハープ奏者石塚さんによる演奏が披露され、和やかな時間になりました。



ニュースポーツ 大会

支え合いポイント

ひとりでは続けにくいス
ポーツを、みんなで行うこと
で、楽しみながら健康増進
にもつながる活動です

大河原町老人クラブ連合会では、9月17日に「ボッチャフレンドリー大会」を開催しました。

ボッチャはパラリンピック正式種目のニュースポーツで、目標球にボールを近づける競技です。年齢や性別、障がいの有無を問わず楽しめるのが特徴のスポーツです。

この日は町全体の会員が集まり、普段接点の少ない仲間とも交流を深めました。初めて体験した会員も多く、「楽しかった」との声が寄せられ、笑顔あふれるひとときとなりました。



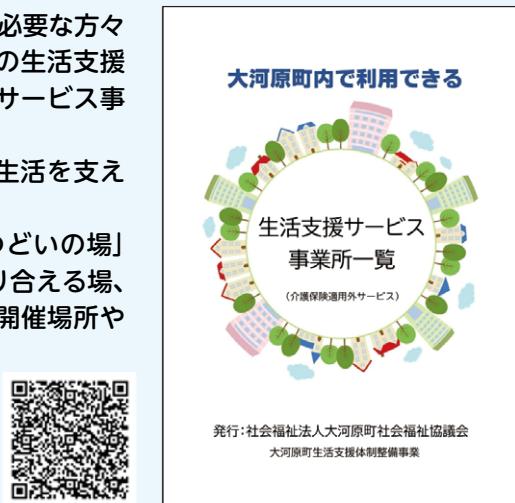
大河原町内で利用できる 生活支援サービス事業所一覧～つどいの場マップ付～のご紹介

大河原町社会福祉協議会では、高齢の方や日常生活に支援が必要な方々が、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、町内の生活支援サービスを提供する事業所の情報をとりまとめた「生活支援サービス事業所一覧」を作成しました。

この一覧には、買い物や掃除、通院の付き添いなど、日常生活を支える多様なサービスを提供する事業所の情報を掲載しています。

また、地域の交流や見守りの場として親しまれている「つどいの場」の一覧とマップを新たに掲載しました。お茶を飲みながら語り合える場、体操や趣味活動を楽しめる場など、町内各地のつどいの場の開催場所や日時、内容をひと目で確認できるようになっています。

配付場所 社協窓口
デジタル版 社協HPに掲載QRコードから閲覧できます



【お知らせ】大河原町老人クラブ連合会主催 「第39回趣味の作品展」を開催します！

開催日時 令和8年2月28日(土)

午前の部(開場9:15)

「作品の展示・即売・レクリエーションなど」

午後の部(開場13:00 開演13:30)

「落語家 六華亭遊花氏による特別講演【笑って健康】」

会場 大河原町 金ヶ瀬公民館(入場無料)

どなたでも参加いただけます。皆様の参加をお待ちしています。

※駐車場に限りがありますので、できるだけ乗り合わせてお越しください。

公民館のほか、向かい側の広表1号公園の駐車場も利用できます。



落語家
六華亭 遊花さん

生活支援コーディネーターとは

生活支援体制整備事業（注：表紙参照）を実際に地域に出向いて推進するのが「生活支援コーディネーター」です。高齢者などが住み慣れた地域で自立した生活を続けられるように、以下の3つを目的に活動しています。

- ① 地域資源の把握と支援(開発)：公共・民間を問わない生活支援・介護サービスなどで、地域で充足または不足しているものを把握します。また、生活を支援するボランティアや地区的役員さんなどの「担い手」の活動を支援し、成り手を育成します。元気な高齢者をはじめ多世代の住民が担い手として活動する場を創出します。
- ② 関係団体等のネットワーク構築：生活支援・介護予防サービスを提供する役場、事業所、NPO、民間企業などの多様な主体と適正な範囲において情報共有し連携強化を図ります。
- ③ ニーズと資源のマッチング：地域における高齢者のニーズと公的制度や地域資源（担い手やサロンなどの活動）そして民間の介護サービスなどについてより効果的で自律的な結びつけ（マッチング）を図ります。

社会福祉法人 大河原町社会福祉協議会

〒989-1243 宮城県柴田郡大河原町字南69番地
(大河原町福祉センター内)

TEL (0224) 53-0294

FAX (0224) 51-3805

H P <https://ogawara-shakyo.net/>

Mail o-shakyo@ji.jet.ne.jp

